

[本資料の背景]

帆船やまゆりは、"1964年東京オリンピック"の警備・観覧艇として神奈川県警察本部が建造した帆船であり、それを裏付ける資料として、本船の初代艇長・大林恒四郎様の「帆船建造時から1964年東京オリンピックでの活動」を記録した日記が、2024年春にご遺族から当NPO法人に提供されたので、特に関係する内容を抜粋したものである。  
[故・大林恒四郎(つねしろう)艇長は、昭和37年4月1日から昭和42年9月30日まで神奈川県警葉山警察署・海事職の任に当たっていた。]

**帆船やまゆり 初代艇長大林恒四郎(つねしろう)殿の日記から**

2024/11/2 NPO法人帆船やまゆり保存会 河村久

No.	年	月日	記事	備考
1	1962	3/17土曜	<ul style="list-style-type: none"> <li>造船所へ廻る。すでに銅板貼ってあるも、ビスの頭が充分中へ入っていない。</li> <li>外板のシームにはホーコン打後、防腐剤塗り毛紙(けがみ)はる。折角の滑らかな外板がでこぼこになってしまって惜しい気がする。</li> <li>試運転について最終的に横山氏(帆船やまゆりの設計者)と分担及び責任について話し合う。</li> <li>就航後の訓練について、ヨットセミナーの実習を本船でやればと言う話しになり、土井悦氏と造船所で会う。今の所、毎日曜に実習をしているので、所属が決まり次第、訓練とセミナーの実習を合わせて行えるよう具申する必要がある。</li> </ul>	
2		3/19月曜	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本無線、大江電気(方探) 試運転時の立合いを連絡する。</li> <li>甲板員3名求人依頼を学校へ。進水式の日に渡辺先生が来られるので、その折詳細を。</li> </ul>	
3		3/20火曜	<ul style="list-style-type: none"> <li>銅板等補修箇所あるため直接造船所へ行く。</li> <li>大儀見氏、エコーのバイブレーター保護材を削らせると、横山氏に連絡する。これは、返って効率が落ちるので反対し取り止める。</li> <li>船名は全部左書きにする。船名の表示はペン書きとする。</li> </ul>	
4		3/21水曜 (春分の日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝から雨がしとしと降り続ける。</li> <li>12時、庁から造船所へ向かう。屋内に式場を設ける。無線機アンテナの取付完了す。</li> <li>16時、知事来場され進水式を挙行する。神主の祝詞、命名、玉串奉天に続いてシャンパン割り、無事進水する。狭い所で事無く終わり、ほっとする。</li> <li>警察本部長、知事、県会議長の挨拶、祝辞があり、今後の「やまゆり」の安航と活躍を期して万歳を唱す。</li> <li>毎日新聞と神奈川新聞が取材した。</li> </ul>	
5		3/22木曜	<ul style="list-style-type: none"> <li>甲板員3名の求人を職業安定所に申し込む。</li> <li>無線通信士を受験し、合格した。</li> <li>ガスレンジの大きさ合わず、メインシートトラベラーの補強する必要あり。エンジンのクラッチハンドルの操作が上手く行かない。</li> </ul>	
6	1963	4/26金曜	<ul style="list-style-type: none"> <li>午前中、装備課長ら乗船に備え、船内整理、水拭き等。</li> <li>午後、13時過ぎ、課より次席、係長と3名、本署より署長、次長、係長が乗船。風良く、セーリング、ランニングしてスピンドル。現場説明を終えて帰港した。</li> <li>明日からの予定---28日公安部長、29, 30, 5/3, 4, 5とオリンピックヨットトレース海域調査の為教育庁関係者乗船。</li> </ul>	
7		4/28日曜	<ul style="list-style-type: none"> <li>管(すが)氏、警察局保安部長上原誠一郎氏及び家族10名乗船。10:30 鐙摺(あぶずり)発、直ちに帆走に移り、一色沖まで走り、帰りはスピンドルを張り12:20入港す。 天気よく快適なレクリエーションになったと思う。</li> <li>ドラゴン級レース委員乗船。13:20開始、15:15終了。来月5日まで9回レースを行い、オリンピック及び世界選手権出場者を詮衡(せんこう)する。12艇参加す。</li> </ul>	
8		5/3金曜	<ul style="list-style-type: none"> <li>風、朝の内稍(やや)強し。本日は、フィン級を行う。ヨット協会副会長の小田氏(浦賀重工)等乗船す。午前午後各一回。ヨット界は完全なシーズン入り。沿岸は白帆でいっぱい。</li> </ul>	
9		5/4土曜	<ul style="list-style-type: none"> <li>本日もフィン級の審判艇をつとめる。成績の良いのは、平均して上位をしめる。AM, PM各一回。</li> </ul>	
10		5/5日曜	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝からの雨。県保安部長の乗船は延期となり、フィン級の審判艇をつとめる。午前午後各一回。昼頃より風波やや出て、一艘沈、一艘ラダー故障する。</li> <li>本日で、ドラゴン級、フィン級両クラスとも詮衡(せんこう)レースが終わる。</li> </ul>	
11		10/8火曜	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラスワーク及びスカットル等の塗装。</li> <li>今福係長、来船す。</li> <li>東京国際スポーツ大会ヨット競技出場の外国選手(フィン級)の練習あり。</li> </ul>	
12		10/12土曜	<ul style="list-style-type: none"> <li>本日は、ドラゴン、スター各級の1, 2回戦が行われる。10:30鐘摺発、マークの北側を廻って江の島へ行き、内港に入り横付けした。12:45 知事他11名乗船。マークの南側を廻り、スタート状況を観戦し、風強くなり鐘摺へ14:35に帰港した。</li> <li>レースは、15:06終了。ドラゴン1艘がマスト折損する。スター級は国内選手のみで3艘。</li> <li>16:30頃、警備解除する。</li> </ul>	
13		10/13日曜	<ul style="list-style-type: none"> <li>レース第2日、ドラゴン、スター、フライングダッチマン、フィンと4クラスのレース実施。</li> <li>フィン級のエルグストローム選手(デンマーク、4回連続チャンピオン)6位となる。彼らは強風には強いが、今日の様な微風では苦戦したと思われた。</li> <li>機動隊員ら来船し見学する。</li> </ul>	

No.	年	月日	記事	備考
14	1963	10/14月曜	・10:30 県会議員ら10数名が乗船し、レース観戦しながら江の島へ向かう。フィン級ヨットの南端マーク回航を見る。ソ連が1位を保持する。エルグストロームは後半組に落ちる。	
15		10/15火曜	・本日も風弱く、D級ノーレースとなる。9:00から15:00まで警備。フィン級のFimishマーク近くで観戦する。デンマークのエルグが2位に入る。	
16		10/16水曜	・D級、F.D.級、F級の最終レースが行われた。 ・10時のF級スタート時にゼネラルリコールとなり、そのうちに風向NWと変り、スタートラインを変更し1時間遅れて発送する。付近海域を巡航し14時入港。上署。 ・標識撤去の為待機する。D級が終了してから時間無きため、一方通行、標識のみ外す。	
17	1964	9/14月曜	・聖火リレーコース略図記入。 ・19日近県本部長乗船予定の連絡受ける。江の島沖のヨットレース海面視察の予定。	
18		9/17木曜	・午後：保安部長乗船。管内一巡し、船底、また、付着生物多く船走らず。 ・19日の打合せに総務課、来船す。	
19		9/18金曜	・酸素ボンベを借りてカキ落とし。 ・明日午後の予定の漁具準備する。聖火リレー略図を新たに記入。	
20		9/19土曜	・レース海面視察の為、本部長、近県本部長等、乗船。湘南港へ回航。波あるため、湾内のみを廻る。 ・午後、小山元署長、捜査1, 2, 3課長ら釣りに乗船する。波あるため江の島までセーリングする。	
21		9/24木曜	・台風接近の為上架出来ず。油壺へ避航する。湾、漁船いっぱいのため湾曲部にアンカーする。	
22		9/26土曜	・台風一過、秋晴れ。三崎で清水洗い。午後、港外で"曳釣り"した後、藤平造船所へ上架。船底は、先日清水カキ落としたゆえ、綺麗なり。船台固定を待ち、帰り遅くなった。	
23		10/5月曜	・クラッチレバーの調整する。午後: 操舵スタンドのニス落とし及びニス塗り。コーミング等ニス重ね塗り。舵調整: "飛揚止め(高く上がるのを止める)"が無いため、上に2~3mm上がる所以、ライナーを入れることにする。	
24		10/6火曜	・タラップをニス塗装、帆走用スパー類、コーミングの割れにパテ充填、バラストに亜鉛板取付け、舵にライナー入れ、舵頭部に座金入れて締めた。バッテリーを充電。	
25		10/8木曜	・テンダー工事始める。雨となり、塗装出来ず。外部水洗い。 ・舵工事、ギヤーの溶接部に亀裂があり、そのため中心が出ない。	
26		10/9金曜	・舵工事を引き続き行い、組立完了。内部プラスワーク、キャビントップ部の凹凸部のペーパー磨き。 ・朝、レース期間中の運航予定について警備へ寄る。	
27		10/10土曜	・一部の塗装が間に合わず、ペイントを積んで葉山に回航した。帆機併走する、舵の具合良し。 ・午後、内外石鹼洗い。O.O.C.委員の井上氏、乗船。責任者として打合せに来船された。	
28		10/11日曜	・満艦飾の場合のラインの用意。手すり、スタンション等の塗装。本部から無線機の交換に来るも調子悪く元に戻す。 ・井上氏、来船す。「ゆきかぜ」もレース海面の観測に来港していた。	
29		10/12月曜	・オリンピックヨットレース第1日目。風弱し。県会議員ら11名乗船。OOC委員井上氏、他1名も乗船。 "5.5m", "ドラゴン"両クラスのレース観戦。 ・日本勢は振るわず、"5.5m"は15艇中13位、"F.D."は21艇中9位でやや上位の程度なり。	
30		10/13火曜	・レース第2日、警察関係者の予定があったが乗船中止。 ・井上氏、他1名が乗船し、警備。本日も、"5.5m", "ドラゴン"両クラス共に不振。	
31		10/14水曜	・雨となり、風もやや強い。乗船者無し。	
32		10/15木曜	・風、昨日と変わらず。元県会議長が乗船。全海面でのレース見る。F.D.級は、船故障で棄権し、ドラゴン級は、第一回航で5位となるもゴールは13位(?)に落ちる。	
33		10/19月曜	・レース第5日、皇太子観戦される。本庁から2名乗船。レースの写真撮る。相変わらず、戦績振るわず。	
34		10/20火曜	・県警警ら課2名、議員2名、乗船。	
35		10/21水曜	・ヨットレース最終日。議員8名、本部4名、委員6名、家族等が乗船。あいにく、風は南となり、風速弱く、波もあり、観戦に適せず。	
36		10/24土曜	オリンピック閉幕。	